

# 今年最後の集中講義で幸福の追究!!

## 講義名 学校改善の実践的研究

教育実践高度化専攻 リーダーシップ開発コース  
四国教職大学院交流事業：遠隔合同授業による交流

## テーマ：学校組織のリーダーシップとウェルビーイング

### 年末最後の週休日、ICT クラスルームでの今年最後の集中講義

この授業は、四国の教職大学院と単位互換授業として開設されている授業で、今回は鳴門教育大学の院生3名と本学現職院生3名が授業交流しました。

学校組織を対象としたリーダーシップとウェルビーイングの基礎理論について理解し、「ウェルビーイング」の視点を採り入れた教育・経営実践を提案するという授業内容です。次回、1月30日には、各院生が考案した教育・経営実践プログラムを発表する予定です。

今回は、「今なぜ、ウェルビーイング？」の問いから、児童生徒と教員の幸福について、先行研究や著名人の経営理念などをもとに、まずは、目指すリーダー像や自分の「幸福」観について、考察しました。演習では、他大学の院生との意見交流から、キャリアの違いや環境の違いを感じさせない、一体感が生まれました。共感あり、大笑いありの充実感満載!!

授業の最後には、「人々の幸福感を高めるウェルビーイングリーダー像」に納得した院生が多く、学習成果抜群でした。

また、「幸福とは、追い求めるものではなく、徳を高めて待つおればよい」「嫌なことを我慢するよりも進んで行くことで、幸福の土台ができる。子どもたちに幸福なる術をしっかりと教えなばならない。」「人間は不幸を経験してはじめて不幸の意味が分かる」「不幸は幸福のためにある」など、幸福哲学から、今後の組織マネジメントや教育実践への具現化を展望しました。

【 教師の幸せから、子どもを幸せに♥ 】



2020年12月26日

2020年12月27日

2021年1月30日

(対面交流予定)

